<様式1>

令和3年度 さいたま市立春野中学校 自己評価書

校長 河井 尚 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、「確かな学力」の向上を目指す。(知育)
— 生徒アンケート、各教科等の授業の状況、『『よい授業』集計システム』の状況
- (2) 人を思いやり、美しいものに感動し、生命を尊重する心をはぐくむ。(徳育)
— いじめ防止の状況、生徒指導・教育相談の状況
- (3) たくましく生きるための体力や健康を培う資質・能力をはぐくむ。(体育)
— 保健指導等の状況、体力向上の取組の状況
- (4) 地域の風がいきかう学校づくりを進める(コミュニティ・スクールによる地域連携)
— たより等の発行の状況、学校運営協議会、土曜チャレンジスクールの実施状況

2 評価結果について

- ・生徒アンケートで「授業に集中し、進んで学習の課題に取り組んでいる」について肯定的に回答した生徒は93%と1回目より3ポイント高い評価となった。「授業でわかった・できたという満足感を感じている」についても肯定的に回答した生徒は、88%に達しており、昨年度と同様に高い評価となった。また、『『よい授業』集計システム』のアンケートにおいて、因子①～④の数値を全て上昇することができた。このことは、教職員の研修において、GIGAスクール構想による一人一台端末を活用し、「つながる学び」に向けた協働的な取組や授業の相互参観、埼玉大学の教授を招聘して実施した研究授業・授業研究会等の成果と考える。
- ・生徒アンケートで「学校に来るのが楽しい」について肯定的に回答した生徒は87%と1回目より1%上昇した。いじめについては、生徒会が中心となり「SNS等インターネットにかかわる春野中宣言」に、全校でいじめ防止に取り組んだことや教育相談部会や生徒指導委員会の充実がいじめの未然防止や早期発見につながり、学校に来るのが楽しいと考える生徒が増加したと考える。
- ・生徒アンケートで「健康・体力づくりへの取組」について肯定的に回答した生徒は85%と1回目より1%上昇した。保健体育科や保健委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染症対策などの健康に関する意識を高める活動を積極的に行った成果と考えている。引き続き環境整備面も含め、生徒の健康・体力づくりへの取組を推進する。
- ・保護者アンケートで「信頼できる学校」について肯定的に回答した保護者が96%と1回目より2%上昇した。また、「学校の情報提供」について肯定的に回答した保護者は90%と1回目より2%上昇した。新型コロナウイルス感染症対策のため、学校公開機会は減ったが、学校安心メール・HPの活用や学校運営協議会などの活動を通して保護者や地域に開かれた学校運営が適切に行われた成果であると考えている。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・「確かな学力」の向上に関して、GIGAスクール構想による一人一台端末を活用し「つながる学び」に向けた取組を通して、教職員の授業力が向上し、年間を通して充実した授業を展開することができた。次年度もさらに教員同士が切磋琢磨しながら授業力向上に向けた取組を行っていききたい。
- ・生徒の心のサポートを充実させるために、道徳の充実を図り、豊かな人間関係づくりに向けた指導を強化する。さらに、生徒が登校しやすい環境を整え、外部機関とも連携を深める。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。